

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年2月14日

上場会社名	中央ビルト工業株式会社	上場取引所	東証第2部
コード番号	1971	URL	http://www.chuo-build.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 安秀		
問合せ先責任者	(役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 安達 圭朗		TEL (03) 3661-9631

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	6,967	6.0	548	5.3	484	7.5	482	9.5
19年3月期第3四半期	6,572	7.2	520	10.8	450	15.8	440	38.4
19年3月期	8,322	—	562	—	478	—	446	—

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	23	42	—	—
19年3月期第3四半期	21	37	—	—
19年3月期	21	68	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	7,475		1,770		23.7		85	99
19年3月期第3四半期	7,256		1,289		17.8		62	59
19年3月期	6,918		1,289		18.6		62	60

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	778		△418		△461		450	
19年3月期第3四半期	711		△56		△546		498	
19年3月期	1,010		△118		△730		551	

2. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

平成19年11月16日に公表しました通期業績予想については変更していません。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,769	5.4	585	4.1	490	2.5	473	6.1	22	86

3. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成19年11月16日に公表しました通期業績予想については変更していません。上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報を参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)の業績は、次の通りとなった。売上高は前年同期比、鉄構部門が落ち込むものの、機材部門が伸びたため、6.0%増の69億6千7百万円となり、売上総利益は前年同期比7.1%増の15億1千1百万円となった。営業利益は前年同期比5.3%増の5億4千8百万円となり、経常利益も前年同期比7.5%増の4億8千4百万円となり、四半期純利益は前年同期比9.5%増の4億8千2百万円となった。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の総資産は、74億7千5百万円となり、前事業年度末と比べて5億5千7百万円増加した。総資産の内訳は、流動資産が37億4千8百万円(前事業年度末比4億7千万円の増加)、固定資産が37億2千7百万円(前事業年度末比8千6百万円の増加)であった。流動資産の主な増加要因は売掛債権の増加であった。

負債の部では、流動負債が37億5千9百万円となり、前事業年度末と比べて5億5千4百万円増加した。また、固定負債は19億4千5百万円となり、前事業年度末と比べて4億7千8百万円減少した。流動負債の主な増加要因は、買掛債務の増加であった。又、固定負債の主な減少要因は長期借入金の減少であった。

純資産の部は、四半期純利益を4億8千2百万円計上したことにより、17億7千万円(前事業年度末比4億8千1百万円の増加)となった。

キャッシュ・フローについては、営業活動の結果、資金は7億7千8百万円増加した。投資活動においては、資金は4億1千8百万円減少した。その主な要因は有形固定資産の取得による支出である。また、財務活動の結果、資金は4億6千1百万円減少した。主な要因は借入金返済による支出である。

以上の結果、現金及び現金同等物は1億1百万円減少し、当第3四半期末残高は4億5千万円となった。

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少な項目につき、一部簡便な手続きを採用している。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当中間会計期間より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更している。これによる損益への影響は軽微である。

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した事業年度の翌事業年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上している。これによる損益への影響は軽微である。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 平成19年3月期末
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	498	452	△46		563
2. 受取手形及び売掛金他	2,333	2,583	250		1,905
3. たな卸資産	792	703	△88		794
4. その他	40	9	△31		14
流動資産合計	3,664	3,748	83	2.3	3,277
II 固定資産					
1. 有形固定資産	3,260	3,319	58		3,289
2. 無形固定資産	4	7	3		3
3. 投資その他資産	327	400	73		347
固定資産合計	3,592	3,727	135	3.8	3,640
資産合計	7,256	7,475	218	3.0	6,918
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金他	2,143	2,493	350		1,965
2. 短期借入金	1,503	950	△553		932
3. その他	280	315	34		306
流動負債合計	3,927	3,759	△168	△4.3	3,205
II 固定負債					
1. 長期借入金	2,026	1,935	△90		2,413
2. その他	13	10	△3		10
固定負債合計	2,039	1,945	△93	△4.6	2,423
負債合計	5,967	5,705	△262	△4.4	5,628
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	275	275	—		275
2. 資本剰余金	526	526	—		526
3. 利益剰余金	480	969	488		486
4. 自己株式	△8	△10	△2		△9
株主資本合計	1,273	1,760	486		1,279
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	15	10	△5		10
評価・換算差額等合計	15	10	△5		10
純資産合計	1,289	1,770	480	37.3	1,289
負債、純資産合計	7,256	7,475	218	3.0	6,918

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 平成19年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	6,572	6,967	395	6.0	8,322
II 売上原価	5,160	5,456	295	5.7	6,574
売上総利益	1,411	1,511	100	7.1	1,748
III 販売費及び一般管理費	891	963	72	8.1	1,185
営業利益	520	548	27	5.3	562
IV 営業外収益	13	13	0	2.0	15
V 営業外費用	82	77	△5	△6.9	100
経常利益	450	484	33	7.5	478
VI 特別利益	—	3	3	—	6
VII 特別損失	8	2	△6	△73.5	33
税金等調整前四半期 (当期)純利益	442	485	43	9.8	451
税金費用	1	3	1	73.9	4
四半期(当期)純利益	440	482	41	9.5	446

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 平成19年3月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	442	485	451
減価償却費	338	383	442
支払利息	67	64	87
売上債権の増加・減少額	△99	△919	407
割引手形の増加・減少額	△202	252	△293
棚卸資産の増加・減少額	△68	90	△159
仕入債務の増加	349	521	171
その他	△46	△32	△1
小計	779	845	1,106
利息及び配当金の受取額	3	4	4
利息の支払額	△64	△63	△84
雑収入の受取額	9	—	10
雑支出等の支払額	△7	—	△11
法人税等の支払額	△9	△6	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	711	778	1,010
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△91	△413	△147
有形固定資産の売却による収入	32	0	27
その他投資の取得による支出	△12	△4	△12
その他投資の減少による収入	14	1	13
その他	0	△3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56	△418	△118
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の借入による収入	130	560	130
短期借入金の返済による支出	△274	△509	△990
長期借入金の借入による収入	—	—	667
長期借入金の返済による支出	△401	△510	△535
その他	△1	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△546	△461	△730
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	108	△101	161
VI 現金及び現金同等物の期首残高	389	551	389
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	498	450	551